

初日ゴールの輪島市を目指し、力走する出場者

＝羽咋市滝町



第23回「ツール・ド・のと
400km能登半島一周サバイバル・サイクル2011」(同
実行委、石川県自転車競技連盟、北國新聞社主催)は17日、
内灘町のコンフォモール内灘を発着点に3日間の日程で開幕した。出場者1351人のうち、初日は1032人が雨の中、輪島市マリンタウンまでの124・2kmに挑み銀輪で連ねた。

【18、19面に関連記事】
午前8時半、3日間で全長412・7kmを走破するチャンピオンコースの567人、

内灘町から輪島市までの一日コースの465人がコンフォモール内灘をスタート。出場者は世界農業遺産に登録された能登の風情を満喫しながらペダルをこぎ始めた。

開会式では、山本正美北國新聞社事業局長があいさつ、八十出泰成内灘町長、緩詰潔県自転車競技連盟会長らが激励した。

きょう七尾へ
18日は輪島市マリンタウンから七尾市の能登島マリンパーク海族公園を目指す。

雨の能登路 銀輪連ね ツール・ド・のと開幕